

第 26 事業年度（中間期版）

J A 加美よつば
ディスクロージャー誌

あした ひら
清流の里に未来を拓く

加美よつば農業協同組合

（令和 6 年 11 月）

○ 目 次

1. あいさつ -----	1
2. 経営方針 -----	2
3. 主要な業務内容 -----	3
4. 直近の事業年度における主要な業務状況 -----	6
5. 自己資本比率の状況 -----	7
6. 金融再生法開示債権の状況 -----	7
7. 有価証券時価情報 -----	7
8. 地域貢献情報 -----	8

1. あいさつ

組合員並びに地域住民の皆様には日頃より格別なるご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年産稲作は、昨年につき猛暑に見舞われ、6月には深刻な水不足となりましたが、7月には水不足は解消され、登熟不足と乳白米などの被害粒が懸念されましたが、夜温の低下や生産者の水管理と徹底した肥培管理の基、等級低下とはなりませんでしたが、秋雨の影響で刈取作業は長引きました。

また、コメ不足による令和の米騒動となり、近年にない概算金の高騰で、生産資材の高騰に加え、燃料・電気料金や関連資材も高止まりの傾向が続いているなかで、生産コストに見合った米価となり安堵しているところです。

しかしながら、今後の消費者によるコメ離れと来年度以降の作付けに影響が出ないか心配され「生産の目安」に沿った作付けと、持続可能な水田農業並びに食料安全保障について政策提言を系統上げて発信してまいります。

信用事業は、個人貯金の堅牢さに支えられ、貯金平均残高は559億1千万円（前年同期比99.3%）となりました。また、融資相談活動の促進により農業融資や住宅ローンの取扱いが微増し、貸出金平均残高133億円となり、貯貸率は23.92%と前年同期を1.65ポイント上回りました。

このほか、購買事業全体では価格高騰による買い控えで計画対比94.7%、販売事業では、前年産米の出荷前倒し、高温による園芸作物の出荷量減少や子牛単価の低迷など厳しい状況の中、事業総利益が5億54百万円、上半期計画対比95.0%となりました。その他農中の配当減などにより令和6年度上半期当期利益は計画を下回り、決算期に向けた更なる進捗管理の徹底が求められます。

本年は、新中期3か年計画の最終年度にあたり、これまで以上に「農業者の所得確保」・「農業経営の次世代継承」・「地域共生社会の実現」に鋭意取り組むほか、コンプライアンス（法令等遵守）の態勢強化と健全経営に努め、組合員と共に次の10年を見据えたJAづくりに役職員一丸となって邁進いたします。

ここにJA加美よつばの現状をお伝えしたく小冊子『JA加美よつばディスクロージャー誌第26事業年度版（中間期版）』を作成いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。

令和6年11月

加美よつば農業協同組合
代表理事組合長 小松孝一

2. 経営方針

組合員と地域でつくる「夢ある農業・農村の創造」実現を目指し、第40回JA宮城県大会で決議された「持続可能な農業の実現」、「豊かで暮らしやすい地域共生社会の実現」、「未来につながる経営基盤の強化」、「加速する環境変化に対応できる体質強化」に向けた不断のJA自己改革の実践とJA版早期警戒制度へ対応するため、中長期的な経営シミュレーションの策定を行いJA経営における持続可能な収益性の確保に努めます。

今年が最終年度となる「中期3か年経営計画」に基づいた、経営資源（要員・施設・財源）の集約と運営・業務形態については、信用・共済業務の集約と全農への燃料事業の譲渡・移管を契機に、地域農業振興に直結する、営農指導・販売・経済事業改革にも取り組み、さらなる刷新を図ってまいります。

また、役職員のコンプライアンス経営（法令等遵守・内部管理体制）の実践によるガバナンス・内部統制の確立と実効性の向上に取り組み、JA経営基盤の盤石化と健全性を確立し、「食と農を基軸とした地域に根差した協同組合」としての役割を発揮してまいります。

【基本目標】

信用事業部門

利用者階層別のライフイベントに応じた「JAネットバンク」等の金融商品の提案と金融サービスの提供をすすめ、地域社会に貢献できる「地域に密着した」信頼される「JAバンク」としての事業活動を展開し、部門間連携による農業融資相談活動と担い手農家・営農組織・農業法人等に対する訪問活動のさらなる体制強化を図ります。

共済・生活事業部門

組合員・利用者および地域住民とのつながりを強化し、地域や利用者皆様の特性を十分に把握した事業を展開し、利用者に寄り添い満足度・利用度の向上を図ります。

営農経済事業部門

地域のブランド力を生かし、競争力ある持続可能な畜産と業務用、加工用の需要にも照準を合わせた「マーケットイン」に基づく販売事業を展開します。

JAグループの生産資材低価格集約銘柄肥料・大型規格農薬の取り扱いによる、生産資材価格のコスト削減を図り、生産者の所得向上を目指します。

農作業受委託事業の取り組みによる地域農業の維持と、「生産の目安」に沿った作付け誘導による、農家所得の確保と食料自給率・自給力の向上を目指します。

管理部門

コンプライアンス（法令等遵守）態勢と次世代を担う人材育成の強化を図ります。

事業継続と健全経営体制の構築のため、JAの財務基盤を強化します。

3. 主要な業務内容

【信用事業】

信用事業は、貯金、貸出、為替などいわゆる銀行業務を行っています。この信用事業は、JA・信連・農林中金という3段階の組織が有機的に結びつき、「JAバンク」として大きな力を発揮しています。

◎貯金業務

組合員の方はもちろん、地域住民の皆さまや事業主の皆さまからの貯金をお預かりしています。普通貯金、定期貯金、定期積金、総合口座などの各種貯金を目的・期間・金額にあわせてご利用いただいています。

また、公共料金、都道府県税、市町村税、各種料金のお支払い、年金のお受け取り、給与振込等もご利用いただけます。

主な貯金の種類

種類	特色	お預り期間	お預り金額
普通貯金	いつでも預入・払戻ができる貯金です。年金・給料の自動受取、公共料金等の自動支払いなどができます。また、キャッシュカードで全国どこのJA・銀行でもATMが利用でき、家計簿がわりにご利用いただけます。	出し入れ自由	1円以上
総合口座	上記「普通貯金」の特色と合わせて、「定期貯金」の預入もでき、「定期貯金」とセットで自動的に低利の借入もできます。「貯める」・「支払う」・「受け取る」・「借りる」などの便利なサービスがたっぷりの口座です。JAの総合口座は、あなたの身近なパートナーです。	出し入れ自由	1円以上
通知貯金	短期間の運用に便利な貯金です。	7日以上	5万円以上
貯蓄貯金	普通貯金のように、いつでも預入・払戻ができ、残高10万円以上になると、市場金利の変動に応じた金利がつきます。また、お預入残高に応じて利率が5段階にアップしますので、大切な貯金を効率よく運用できます。 ただし、年金・給料の自動受取、公共料金等の自動支払いはできません。 (ご利用は、個人の方に限ります)	出し入れ自由	1円以上
スーパー定期	お預り期間が幅広く、期間3年以上の複利型の場合は、6ヶ月毎の複利で利息計算になります。大切な貯金をご希望期間に応じて運用いただけます。	1ヶ月～5年	1円以上
大口定期	大口資金の運用に適した高利回りの定期貯金です。 (単利型のみでのご利用となります)	1ヶ月～5年	1千万円以上
期日指定定期	預入日から1年から3年までの間で、ご希望の満期日を指定できます。 (ご利用は、個人の方に限ります)	最長3年	1円以上 3百万円未満
変動金利定期	貯金金利が6ヶ月ごとに変動する定期貯金です。・お預り1～3年 (複利型は個人のお客様のみご利用いただけます)・お預り3年	1年～3年	1円以上
積立式定期 (エンドレス型)	積立期間や満期日を定めずに積立てる定期貯金です。	積立回数 無制限	1円以上
積立式定期 (満期型)	最初の預入日に満期日を指定して積立てる定期貯金です。	6ヶ月～10年	1円以上
積立式定期 (年金型)	受取開始以降最長20年間年金として、積立てた元利金を分割してお受取になれる定期貯金です。	12ヶ月～10年	1円以上
定期積金	目的に合わせた金額を、毎月一定額をご希望の期間で積み立てでき、まとまった資金づくりができます。	6ヶ月～5年	千円以上

◎ 貸出業務

農業専門金融機関として、農業の振興を図るための農業関連資金はもとより、組合員の皆さまの生活を豊かにするための生活改善資金等を融資しています。

また、地域金融機関の役割として、地域住民の皆さまの暮らしに必要な資金や、地方公共団体、農業関連産業へも必要な資金を貸し出し、農業の振興はもとより、地域社会の発展のために貢献しています。

さらに、株式会社日本政策金融公庫をはじめとする政府系金融機関等の代理貸付、個人向けローンも取り扱っています。

主な農業資金の種類

種 類	お使いみち	ご融資金額	ご融資期間
アグリマティー資金	地域農業振興のための資金です。農業生産・担い手育成・加工・販売に要する資金、また、地域活性化・地域振興を支援するための資金にご利用いただけます。	事業費の範囲以内	10年以内 (用途により 20年以内)
一般農業資金	農業経営で必要とする資金にご利用いただけます。	事業費の範囲以内	30年以内
営農ローン	組合員のみなさまの営農資金および生活に必要な資金にご利用いただけます。	300万円以内	1年ごと 自動更新

主な生活資金の種類

種 類	お使いみち	ご融資金額	ご融資期間
住宅ローン	住宅の新築・増改築・借り換えに必要な資金にご利用いただけます。	10万円以上 10,000万円以内	3年以上 50年以内
リフォームローン	住宅の増改築・改装・補修及び住宅関連設備に要する資金にご利用いただけます。	10万円以上 1,500万円以内	1年以上 15年以内
教育ローン	入学金・授業料・アパート代等お子さまの教育資金にご利用いただけます。	10万円以上 1,000万円以内	15年以内 (在学期間+9年)
多目的ローン	買い物・結婚・旅行・医療等資金使途自由にご利用いただけます。	10万円以上 500万円以内	6カ月以上 10年以内
マイカーローン	自動車(新・中古車)の購入資金等にご利用いただけます。	10万円以上 1,000万円以内	6カ月以上 15年以内
カードローン	生活に必要なあらゆる資金に自由にご利用いただけます。	10万円以上 300万円以内	1年ごと 自動更新

※教育ローン・多目的ローン・マイカーローンの貸出利率は、JA利用率により最高0.4%軽減されます。

◎ 為替業務

全国の J A ・ 信連 ・ 農林中金の店舗を始め、全国の銀行や信用金庫などの各店舗と為替網で結び、当 J A の窓口を通して全国のどこの金融機関へでも振込 ・ 送金や手形 ・ 小切手等の取立が安全 ・ 確実 ・ 迅速にできます。

◎ サービス ・ その他

当 J A では、コンピュータ ・ オンラインシステムを利用して、各種自動受取、各種自動支払いや事業主のみなさまのための給与振込サービス、自動集金サービスなど取り扱っています。

また、全国の J A での貯金の出し入れや銀行、信用金庫、コンビニエンス ・ ストアなどでも現金引き出しのできるキャッシュサービスなど、いろいろなサービスに努めています。

毎月第 2 ・ 第 4 水曜日、当 J A では、午後 7 時まで本 ・ 支店窓口を開き、金融のさまざまなご相談にお応えしており、気軽にご利用いただいております。

【 共済事業 】

J A 共済は、J A が行う地域密着型の総合事業の一環として、組合員 ・ 利用者の皆様の生命 ・ 傷害 ・ 家屋 ・ 財産を相互扶助によりトータルに保障しています。事業実施当初から生命保障と損害保障の両方を実施しており、個人の日常生活のうえで必要とされるさまざまな保障 ・ ニーズにお応えできます。

また、J A 共済では、生命 ・ 建物 ・ 自動車などの各種共済による生活総合保障を展開しています。

毎月第 2 ・ 第 4 水曜日、当 J A では、午後 7 時まで共済センター窓口を開き、共済のさまざまなご相談にお応えしており、気軽にご利用いただいております。

【 農業関連事業 】

◇ 販売事業

販売事業の根幹をなす水稲については、有機米を頂点とした環境保全米づくりを推し進めています。農産物の販売リスク対策管理態勢強化を図るため、生産履歴記帳確認、農業生産工程管理（GAP）確認、残留農薬検査、放射性物質検査、DNA 鑑定等に取り組み、消費者に信頼される産地づくりをさらに進めてまいります。

また、飼料用米生産 ・ 土地利用型園芸作物の推進を行いながら、畜産農家から稲作 ・ 園芸農家へと、地域内資源循環型農業の確立を進め、安全で安心な国産野菜の取組みを年々拡大しています。

◇ 購買事業

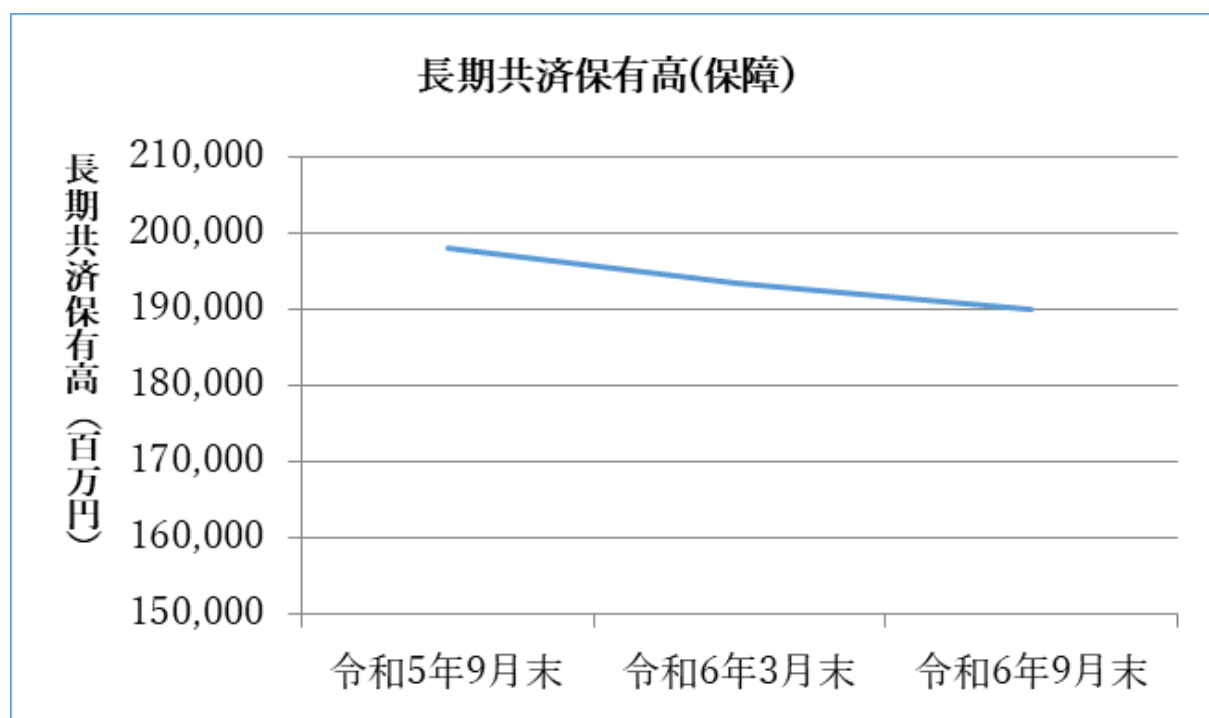
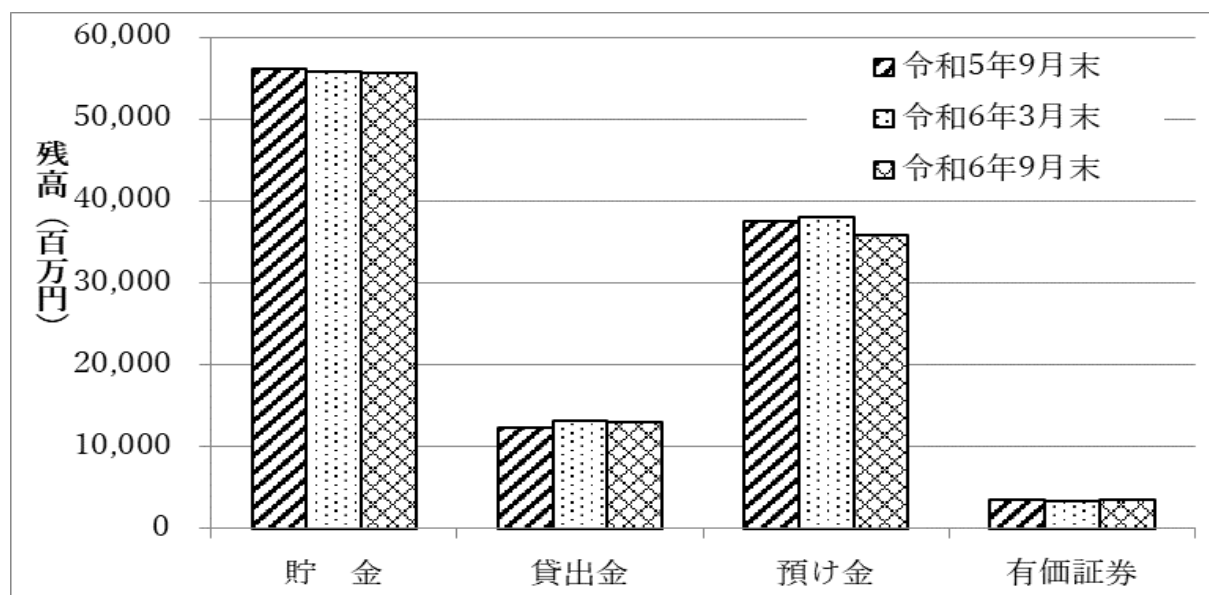
経済事業は、肥料、農薬、農機具等農業生産に必要な生産資材や、食品、燃料、自動車等の生活資材を組合員や地域の皆様に供給する購買事業を行っています。農繁期の時期には、土曜日 ・ 日曜日 ・ 祝日も購買窓口の営業を致しております。

農機具 ・ 自動車については、年 2 回の大展示会を開催し、事業の展開を行っています。

4. 直近の事業年度における主要な業務状況

残高（単位：千円）

種類	令和6年9月末	令和6年3月末	令和5年9月末
貯金	55,660,815	55,758,544	56,192,553
貸出金	13,008,013	13,212,126	12,313,456
預け金	35,765,763	38,013,046	37,483,815
有価証券	3,526,800	3,400,520	3,500,910
長期共済保有高	189,962,470	193,417,994	198,082,190



5. 自己資本比率の状況

単体自己資本比率

令和6年9月末	令和6年3月末
19.20%程度	19.06%

令和6年9月末の単体自己資本比率（推計値）は、令和6年3月末の自己資本額・信用リスク・アセット額・オペレーショナル・リスク相当額を基準に、9月末までの資産増減から推計した信用リスク・アセット増減額を令和6年3月末の信用リスク・アセット増減額に加減し算出しています。

6. 金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権(単体)

(単位：千円)

債権区分	令和6年9月末	令和6年3月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	926	926	0
危険債権	85,927	90,571	△4,644
要管理債権	-	-	-
正常債権	12,941,593	13,134,246	△192,653
合計	13,028,447	13,225,744	△197,297

令和6年9月末の計数は、次の方法により算出しています。

各債権区分額は、令和6年3月末時点の債権額を基準として、令和6年9月末時点の残高に修正しています。

7. 有価証券時価情報

(単位：千円)

種類	令和6年9月末			令和6年3月末		
	帳簿価額	時価	評価損益	帳簿価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
その他	3,776,969	3,526,800	△250,169	3,577,995	3,400,520	△178,491
合計	3,776,969	3,526,800	△250,169	3,577,995	3,400,520	△178,491

1. 令和6年9月末の有価証券の時価は、9月末日における市場価格等に基づく時価としています。
2. 帳簿価額は償却原価法適用前のものです。

8. 地域貢献情報

< 地域社会に貢献する活動 >

- 放射性指定廃棄物最終処分場建設反対運動
- 組合長旗争奪少年野球大会・J A秋まつり開催
- J Aのつどいコンサートの共催
- 交通安全人垣作戦
- グリーンツーリズム推進事業 ふれあい田んぼ教室への協力
- 農産物直売所「愛菜ハウス」お客様感謝祭
- 環境保全・循環型農業生産を通じた連携
- 献血活動
- 自治体との協定締結による防災協力体制の継続
- 自治体との協定締結による高齢者見守り活動の継続

< 地域社会からの資金調達の状況 >

◎ 貯金に関する指標

(科目別貯金平均残高)

(単位：千円，%)

種 類	令和6年9月末	令和6年3月末	増 減
流 動 性 貯 金	32,924,384 (58.9)	32,657,895 (57.9)	266,489
定 期 性 貯 金	22,978,969 (41.1)	23,730,473 (42.1)	△751,504
そ の 他 の 貯 金	9,030 (0.0)	11,234 (0.0)	△2,204
計	55,912,384 (100.0)	56,399,604 (100.0)	△487,220
譲 渡 性 貯 金	- (-)	- (-)	-
合 計	55,912,384 (100.0)	56,399,604 (100.0)	△487,220

(注) 1. 流動性貯金＝当座貯金＋普通貯金＋貯蓄貯金＋通知貯金

2. 定期性貯金＝定期貯金＋定期積金

3. () 内は構成比です。

< 地域社会への資金供給の状況 >

◎ 貸出金に関する指標
(業種別の貸出金残高)

(単位：千円，%)

種 類	令和6年9月末	令和6年3月末	増 減
農 業	1,530,315 (11.8)	1,445,071 (10.9)	85,243
林 業	92,927 (0.7)	94,788 (0.7)	△1,860
水 産 業	- (-)	- (-)	-
製 造 業	1,910,277 (14.7)	1,929,237 (14.6)	△18,959
鉱 業	1,110 (0.0)	1,263 (0.0)	△153
建 設 ・ 不 動 産 業	434,616 (3.3)	437,881 (3.3)	△ 3,264
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 水 道 業	72,259 (0.6)	74,227 (0.6)	△ 1,967
運 輸 ・ 通 信 業	255,950 (2.0)	188,782 (1.4)	67,167
金 融 ・ 保 険 業	853,251 (6.6)	1,301,046 (9.8)	△ 447,795
卸 売 ・ 小 売 業 ・ サ ビ ス 業 ・ 飲 食 業	886,725 (6.8)	901,837 (6.8)	△ 15,112
地 方 公 共 団 体	2,713,806 (20.9)	2,675,425 (20.2)	38,380
非 営 利 法 人	144,550 (1.1)	137,522 (1.0)	7,027
そ の 他	4,112,227 (31.5)	4,025,047 (30.7)	87,181
合 計	13,008,013 (100.0)	13,212,126 (100.0)	△204,112

(注) () 内は構成比 (貸出金全体に対する割合) です。

< 暮らしの活動関係 >

- 地域清掃活動
- 田んぼのいきもの調査の取り組み
- 農業用廃プラスチック回収運動の展開・不用農薬回収
- 放射性物質測定の実施
- 百歳元気プロジェクトの推進
- 家の光を活用した地域協同活動
- J A共済 総合健康検診 脳ドック検診
- 地元幼稚園、小学校の体験農園支援
- 人形感謝祭の開催
- J Aスマホ教室の開催
- 各種情報誌の発行

< 地域密着型金融の取り組み >

- 年金友の会活動
- 組合長杯パークゴルフ大会の開催
- 年金相談会・住宅ローン相談会の開催

広報・ネットワーク

インターネット ホームページの随時更新による産地情報発信

U R L <https://www.ja-kami.or.jp>

E-mail yotsuba@ja-kami.or.jp

Facebook（フェイスブック）・Instagram（インスタグラム）による情報発信

広報誌の発行配布、コミュニティー誌発行製作新聞折込

日本農業新聞への積極的な記事掲載

あした ひら
清流の里に未来を拓く

